

index

2019〈第20号〉

- 医師連盟委員長挨拶
- 郡市区医師連盟だより(小野市・加東市医師連盟)
- 議員対談 衆議院議員 山口つよし氏
- 自民党兵庫県連 各種友好団体との政策要望に係る意見交換会
- 第25回参議院議員選挙結果について
- 第25回参議院比例代表選挙「羽生田たかし」得票数(都道府県別、県下郡市区別)
- 第25回参議院議員選挙 兵庫選挙区当選者の市町別得票数

# 兵庫県医師連盟ニュース



発行所 兵庫県医師連盟  
〒651-8555 神戸市中央区磯上通6-1-11  
Tel 078-231-4114  
http://www.hyogo-ishirenmei.jp

編集責任者 松本 卓

## 医師連盟委員長挨拶



兵庫県医師連盟  
委員長 松本 卓

という形でどれだけ国民からの信任を得て当選されたかとの評価であり、この発言力が次の政策にどれだけ影響力を行使出来るかという形で

即位礼正殿の儀を経て名実ともに令和となりましたが、兵庫県医師連盟が推薦し国会議員となられた方々は国務大臣の名を始めた活躍されておられます。

兵庫2区の赤羽一嘉氏は国土交通大臣、兵庫9区の西村康稔氏は経済再生担当大臣・全世代型社会保障改革担当大臣に就任されています。

組織内候補として当選された自見はなこ氏は厚生労働大臣政務官に、羽生田俊氏は厚生労働委員会委員・厚生労働部会長代理に就任され、共に働き方改革等に熱心に取り組んでおられます。

兵庫1区の盛山正仁氏も厚生労働委員会委員長に就任され我々の身近な分野で活躍されていることは非常に喜ばしいことです。

それぞれ重責を担って職務に専念されておられますが、やはり国会内の発言力の基盤となるものは、その議員の方が得票数

じわじわ現れてくる結果に繋がります。今回の参議院選挙の全国比例区では羽生田俊氏が医療福祉系の候補者の中で3番手に甘んじる結果となったことは誠に残念ではありますが、タスクシフティングの議論の中で早速ナースプラクティショナーの制度化を求める議論が活発化していることは見逃せません。来年度に控えている次期診療報酬改定の議論においても劣勢な立ち位置となることが懸念される点です。

選挙結果の分析を進めているところですが、まず組織内候補の得票数を伸ばすためには家族・職員の協力を得ることは必須条件であります。そして特定の地域では得票数が飛躍的に伸びているところがあり、「あの先生が頑張られたのだな」と容易に想像がつく場面にも遭遇いたしました。それらの先生方は患者さんに手書きの候補者名を



写真①

【小野市・加東市医師連盟】  
小野市・加東市医師連盟では、医師をはじめとする医療・介護の従事者や、市民の生の声を国会議員、県会議員に届け、各議会で政治的判断に役立ててもらおうと、年に一度、特に選挙前の総会開催時には必ず、当地域を票田にしている議員諸先生に参集していただき、報告会・懇話会を開催しております。

写真は羽生田俊参議院議員の次年度に予定されている再選挙を控えた昨年十二月一日に神戸第一ビルで開催された小野市・加東市医師連盟医療政策研究大会の様子です。

まず坂本泰三医師連盟委員長より、連盟活動の報告があり(写真①)続いてこの会には毎年必ず参加していただいている末松信介参議院議員より、羽生田俊氏への支持の必要性を熱弁していただき(写真②)最後に、羽生田俊参議院議員候補のポスターを中心に左から藤井比早之衆議院議員、坂本委員長、西山副委員長、末松信介参議院議員、地元選出の藤

## 郡市区医師連盟だより

書いた小さな紙を渡されたり、親しい方に積極的に電話をかけたりといった個別勧奨で成功を収められたとの裏話を伺うことができませんでした。

次の選挙はすぐ目の前に迫ってまいります。もう一度足元を見直すとともにいかにして

患者さんや親しい方へも働きかける大きなポイントとなるのだと考えます。そして最も大切なことは政治活動に無関心な仲間の会員をいかに巻き込んで活動していくかということですね。皆さん、是非、力を合わせて戦いましょう！



写真②



写真③

原昭一県会議員で、参議院選挙勝利の決意の記念(祈念)撮影を行いました。(写真③)

師走の土曜日にもかかわらず、当日の参加者は小さな本医師会A会員60名の約半数に達しました。その結果、第25回参議院選挙での羽生田俊候補の獲得票数は全国的、全国的には前回選挙に比して低調であったことに反し、小野市・加東市では前回の獲得票数の2.43倍(119票)となり、まだまだではありませんが、我々の日々の医師連盟活動の成果であったようです。

連盟副委員長 西山敬吾



**西川** 本日はお忙しいところありがとうございます。兵庫県医師連盟プロジェクト委員、相生市医師会の西川梅雄です。私と山口つよし衆議院議員との対談とご一緒できたくお願いいたします。

まずは山口先生のご経歴をお願いします。

**山口議員(以下山口)** 私の小さい頃の実家は相生湾のすぐ傍にあり、相生小学校の先生から「相生湾が世界の七つの海に繋がっている」と教えられたのが後に外交官となる原点になっています。その後姫路の淳心学院中・高等学校に進みました。中学校の時、父親のはからいで神戸YMCAの交換プログラムでアメリカのシアトルへ行きました。そこで、日米の中学生で

するIHI播磨病院の前で歯科医院をご開業されました。よく存じ上げております。

**山口** 実は高校3年の時に父に歯科医を継ぐべきかどうかを聞いたところ、後で後悔しないように自分のやりたいこと(外交官)をやれと言われ、歯科医ではなく外交官を目指すことになりました。

**西川** ほんですか。先生は結構「父親思い」なんですね。先生は外交官になられてから、アメリカのワシントンの大学院で学ばれ、本省勤務の後、中華人民共和国、パキスタン、そして連合王国(イギリス)それぞれで日本大使館一等書記官を歴任されています。

それなりに迷って決心して外交官になり、大國の二等書記官

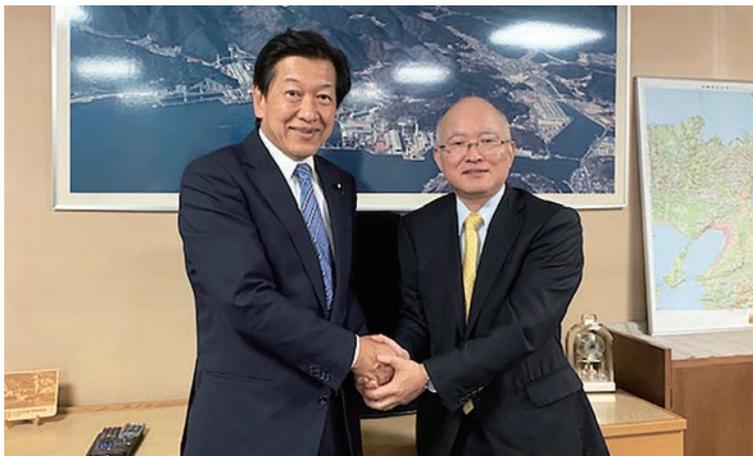
まで歴任された経歴を捨ててまで、何で政治家に？

**山口** 私は苦勞して外交官試験に合格したので、当然最後まで外交官を務め上げるつもりでした。ところが実際に外務省に勤めると、政治家が大変な張りついで、政治家がビックリしました。官僚が政治家にペコペコして言いなりになっていることに大変がっかりしました。いくら役人がしつかりしていても政治家が方向を誤ったら何の意味もないことが分かったのです。国の方向を決めるのは政治家であることに気付いたことが一番大きな理由で、ロンドン勤務の際、思いつきで某大物政治家から政治家になるよう誘われたことがきっかけで衆議院議員選挙に出馬しました。

**西川** 山口先生は衆議院議員として、今6期目を務めておられます。そこで今回の参議院選挙(令和元年7月21日)の結果についてはいかがですか。

**山口** 一言でいえば「政権を任せられる野党がない」ということでしょうか。少なくとも本意の意味でのリーダーは、日本をどのように変えるのかということをきちんと明言するべきです・・・。

**西川** この辺でちょっと医療関係の話に変えます。一応医師連盟の企画ですので・・・。



山口つよし衆議院議員 西川梅雄プロジェクト委員

まず所謂(いわゆる)インバウンド(訪日外国人)の問題です。

**山口** 政府は観光先進国の実現に向けて2020年には4000万人の訪日外国人観光客を達成しようとしています。当然多くの多国籍外国人が医療機関を受診することになると思われます。

そこで医療現場で問題になるのは少なくとも2つあるでしょう。言葉の問題と医療費未払いの問題でしょうね。前者については以前よりもはるかに多くの「民族」が訪日するため、英語だけではだめで、多種多様な言語で対応しないといけない。難しい医学用語を間違いなく相手に

に説明し伝えることは大変難しいと思います。医療機関の規模によっては当然対応不能なところも多いでしょう。

後者(医療費未払い)については海外旅行保険に入っていない訪日外国人旅行者が約27%いると言われています。外国人旅行者を一生懸命治療して、日本の高度で高額な医療を提供しても治療費を支払ってもらえず、帰国後送金すると約束しながら、「いわゆる」ふみたおし」も多しと聞いています。これらが医療機関の「持ち出し」になっているのが現状であり、心が痛みます。

**西川** 20年以上前、シンガポールへ行ったときに思ったのですが、例えば箱以外にポイ捨てしたり、チューインガムを持ち込むだけでも犯罪になって罰金を払わされる。その代わり清潔で安全・安心な観光が楽しめる。

そこで日本も旅行保険に

加入してない外国人は入国させない。要するに規則に従う人は日本の「おもてなし」を受けることができる。そういうのはいいかがですか？

**山口** それは面白い発想ですが、旅行保険に加入していない人を入国させないというのは今のところちょっと難しいでしょう。継続可能な観光立国になるには入国時の規則を厳しくすることも必要かもしれません・・・。

**西川** 何とかその辺を頑張ってください。

次に健康保険組合の解散についてです。昨年度も大きな健保組合が解散しましたがいかがですか？

**山口** 大企業の健康保険組合が解散すると全て政府管掌の協会健保に移行しています。健保組合によっては社員から徴収した保険料の約半分が「拠出金」と称して高齢者医療負担金として使われているわけですね。この拠出金はますます増えると思われる、このままでは健保組合を維持できなくなるのではないですか。国としては「取りはぐれ」のない大企業から医療費を徴収しようとしているのでしょうが、多くの健保組合が解散してしまつと結局政府管掌の協会けんぽの負担になり、ひいては国民負担の増加につながると思

ます。私自身、健保組合立の病院に勤務していますが「拠出金の増加」がいろいろ意味で切実な問題です・・・。

それから主に先生の選挙区、兵庫県12区を中心とする西播磨地域の医療について。医師偏在の問題も絡むと思いますがいかがでしょうか？

**山口** 平成28年時点で人口10万人当たりの医師数が西播磨医療圏では163人、姫路市を中心とする中播磨圏が212人でした。これらを昨年合併させて播磨姫路医療圏とすることで人口10万人当たりの医師数が約200人(正確には197人)になっています。しかしながら西播磨地域は兵庫県北部の但馬圏域の213人よりも少ない、兵庫県全体の平均では253人。兵庫県下で最も医師の少ない地域が西播磨地域(旧西播磨圏域)であるということになります。西播磨には特に産婦人科がほとんどなく小児科も少ない。多くの場合、お産をするのに姫路まで行かなければならない。産科や小児科が少ないということはこの地域の人口が将来的に減少することに拍車をかけています。この辺のところを何とかするべきだと考えています。

まず(いわゆる)インバウンド(訪日外国人)の問題です。

**山口** 政府は観光先進国の実現に向けて2020年には4000万人の訪日外国人観光客を達成しようとしています。当然多くの多国籍外国人が医療機関を受診することになると思われます。

そこで医療現場で問題になるのは少なくとも2つあるでしょう。言葉の問題と医療費未払いの問題でしょうね。前者については以前よりもはるかに多くの「民族」が訪日するため、英語だけではだめで、多種多様な言語で対応しないといけない。難しい医学用語を間違いなく相手に

に説明し伝えることは大変難しいと思います。医療機関の規模によっては当然対応不能なところも多いでしょう。

後者(医療費未払い)については海外旅行保険に入っていない訪日外国人旅行者が約27%いると言われています。外国人旅行者を一生懸命治療して、日本の高度で高額な医療を提供しても治療費を支払ってもらえず、帰国後送金すると約束しながら、「いわゆる」ふみたおし」も多しと聞いています。これらが医療機関の「持ち出し」になっているのが現状であり、心が痛みます。

**西川** 20年以上前、シンガポールへ行ったときに思ったのですが、例えば箱以外にポイ捨てしたり、チューインガムを持ち込むだけでも犯罪になって罰金を払わされる。その代わり清潔で安全・安心な観光が楽しめる。

そこで日本も旅行保険に

加入してない外国人は入国させない。要するに規則に従う人は日本の「おもてなし」を受けることができる。そういうのはいいかがですか？

**山口** それは面白い発想ですが、旅行保険に加入していない人を入国させないというのは今のところちょっと難しいでしょう。継続可能な観光立国になるには入国時の規則を厳しくすることも必要かもしれません・・・。

**西川** 何とかその辺を頑張ってください。

次に健康保険組合の解散についてです。昨年度も大きな健保組合が解散しましたがいかがですか？

**山口** 大企業の健康保険組合が解散すると全て政府管掌の協会健保に移行しています。健保組合によっては社員から徴収した保険料の約半分が「拠出金」と称して高齢者医療負担金として使われているわけですね。この拠出金はますます増えると思われる、このままでは健保組合を維持できなくなるのではないですか。国としては「取りはぐれ」のない大企業から医療費を徴収しようとしているのでしょうが、多くの健保組合が解散してしまつと結局政府管掌の協会けんぽの負担になり、ひいては国民負担の増加につながると思



対談の様子

(三面より)

西川 ぜい何とかして下さい。

もう一つ質問ですが「働き方改革」についてです。医師の長時間労働の是正、労働時間の短縮が主な問題になっています。我が国の医療は、医師の自己犠牲的な長時間労働によって支えられているのは周知の事実です。

一方で医師法による「応召義務」、医師の公共性、高度の専門性などを要求され、単純に労働時間の短縮なんかできないというのが現場の感覚です。私もずっと勤務医をしていて感じる

のは、①労働時間を短くすることは結果的に給料が減る。②今まで当直料などに含まれていた実労働時間が残業代として増加するのどちらかです。前者の場合は病院を辞めてしまう医師が生じること。③の場合、増加した人件費はどこから捻出

するのかわからない問題があります。財源を診療報酬で確保できないければ「病院が倒産」する。④⑤いずれの場合も医療崩壊のおそれに直結しています。

山口 いろいろ問題がありそうですが要はバランス感覚なんじゃないですかね。それに医師の仕事

を他職種の人にできることを代行してもらいにも、その人件費はどこから出るのかという問題はありますよね。ともかく財源を確保しないといけないんじゃないか。

西川 最後に、もし山口先生が日本国首相(あるいは大統領みたいな人?)になったらとして、今の日本を一刀両断に改革するとしたら何をどのようによ

山口 やはりまずは教育改革です。教育の本質は「内面の充実」です。学校で習ったことを全部忘れた時に何が残っているのかが重要なんです。このような教育改革により、どのような時代にも通用する人づくりをする。それと、これまでの日本の教育は正

解がある問題について回答を求められていました。これからは正解が存在しない種々の問題について取り組まねばならない時代になっていきます。自ら考えて自分なりの回答を自ら見つけ出す力を養うことが大変重要になります。更にそれによって「構

かど考えています。

他方で英語とIT(Information technology) 情報技術) についてもっと本格的に教える必要もあります。中国や韓国の若い世代の英語力、IT力は非常に高いのです。

西川 かなり前から日本国内の医学会で、発表も質問も全て英語で行うというセッションがあります。

山口 そういう流れなんだと思います。いままでの教育では国際会議の場でアジアの他国の若者に英語力で全く歯が立たず、勝負にならないという話もよく聞きます。

教育を徹底的に改革して、学校を面白くして、そこで一生懸命やれば、世界で通用する超一流の人材になるという仕組みを創っていきたくです。

そのうえでイノベーション(Innovation) 技術革新と訳されることが多い) 政策を推し進めるのです。これは経済の実体を強くします。

日本は元々イノベーションが得意です。ウォークマン、ウォシュレット、新幹線のシステムも画期的なイノベーションです。

実は国民皆保険も「制度」として世界に冠たる立派なイノベーションです。

イノベーションにより新しい

産業を興して世界経済の発展を牽引した国が覇権国になってい

ます。これまではアメリカが自動車、航空機、宇宙、ITなどの諸産業をイノベーションによりリーディング産業となし、世界の覇権を握っていました。ですがアフガン・イラク戦争を境に国力をジワジワと消耗し、イノベーションも相対的に低下して

ています。世界第2位の経済大国は今や中国ですがイノベーション力においては日本はもっと頑張れると思っています。

一方農業イノベーションも大切です。化学肥料を使い過ぎの

土壌を改良し、その土に適した微生物を見つけて働かせるなどして、栄養価の高い、免疫力を高めるような農作物を作るべき

です。地元でこのような農業イノベーションを進めることにより兵庫12区の人は感染症やガンになる人は少なく、元気で長生きする人が多いと言われるようにできればと思います。

人生百年時代には疾病予防と

か未病が大事で、免疫力をどうやって高めるかということに力を入れていくことが大切です。

それがこれからの医療の一つの大きな流れとなるのでないでしょうか。

西川 「地産地消」で地元の栄養価の高い、健康に良いものを食べて免疫力を高め、皆元気で

長生きしようということですね。

山口 その通りです。健康第一、生涯現役です。

西川 ぼちぼち時間になりました。今回の対談は私の思い付きと興味本位の質問ばかりで、先

生のご活躍を祈念致します。ありがとうございました。

山口 今後外交関係だけでなく、西播磨に住む皆さんの幸せのために、医療についても一層勉強し貢献して参ります。是非宜しく願います。

自民党兵庫県連 各種友好団体との政策要望に係る意見交換会

同党からは、健康福祉部会長の森脇保仁(宝塚市)並びに・原吉三(中央区)・永田秀一(南あわじ市)・山本敏信(高砂市)・北川泰寿(西宮市)・大谷勲介(尼崎市)・春名哲夫(宍粟市)・北野実(姫路市)・福島茂利(兵庫区)・大豊康臣(加西市)・戸井田祐輔(姫路市)・富田恵二(相生市)・川部宣宏(長田区)・松本裕一(加古川市)・大前春代(西宮市)・松井茂樹(たつの市)・揖保郡)・中野郁吾(西宮市)の総勢17名の県議会議員の出席があった。

重点要望事項 訪日外国人観光客医療に対する支援 政府は訪日外国人観光旅行者数を2020年には4000万人、2030年には6000万人を目標としており、2020

年の東京オリンピック、パリのピクの開催時には多数の日本を訪れることが予想される。この大量にそして急速に増えている訪日外国人観光旅行者に対して、国籍を問わず医療を必要とする患者に適切な医療を提供することは日本国としての責務であるかと考える。

しかし、そのことによって地域の医療が乱されるようなことがないように対処しなければならぬ。

兵庫県においてもこの視点に立ち、訪日外国人観光旅行者に対する医療機関の整備が欠かせない。令和元年7月には第一回の協議会が関係団体の代表が集まって協議を開始し、今後3〜4回の開催が予定されている。この協議会では入院を

令和元年9月19日(木)午後3時から県庁3号館4階の自民党県議団フロアにおいて意見交換会が開催された。兵庫県医師連盟から松本委員長、橋本(寛)常任執行委員、澤井執行委員が出席、森脇保仁自民党健康福祉部会長、松本兵庫県医師連盟委員長の挨拶の後、令和2年度県予算編成に対する最重点要望事項について澤井執行委員より説明し、実現方を強く要請した。

松本 卓医師連盟委員長

の総勢17名の県議会議員の出席があった。



松本 卓医師連盟委員長

# 自民党兵庫県連 各種友好団体との政策要望に係る意見交換会

同党からは、健康福祉部会長の森脇保仁(宝塚市)並びに・原吉三(中央区)・永田秀一(南あわじ市)・山本敏信(高砂市)・北川泰寿(西宮市)・大谷勲介(尼崎市)・春名哲夫(宍粟市)・北野実(姫路市)・福島茂利(兵庫区)・大豊康臣(加西市)・戸井田祐輔(姫路市)・富田恵二(相生市)・川部宣宏(長田区)・松本裕一(加古川市)・大前春代(西宮市)・松井茂樹(たつの市)・揖保郡)・中野郁吾(西宮市)の総勢17名の県議会議員の出席があった。

重点要望事項 訪日外国人観光客医療に対する支援 政府は訪日外国人観光旅行者数を2020年には4000万人、2030年には6000万人を目標としており、2020年の東京オリンピック、パリのピクの開催時には多数の日本を訪れることが予想される。この大量にそして急速に増えている訪日外国人観光旅行者に対して、国籍を問わず医療を必要とする患者に適切な医療を提供することは日本国としての責務であるかと考える。

しかし、そのことによって地域の医療が乱されるようなことがないように対処しなければならぬ。

兵庫県においてもこの視点に立ち、訪日外国人観光旅行者に対する医療機関の整備が欠かせない。令和元年7月には第一回の協議会が関係団体の代表が集まって協議を開始し、今後3〜4回の開催が予定されている。この協議会では入院を

(四面より)



森脇保仁健康福祉部会長

(三面より)  
受け入れる拠点となる病院を設置し、また県下の10圏域ある2次医療圏には外来患者を受け入れる医療施設を少なくとも1〜2施設設置するのを目途として協議されるようである。しかしながらこの拠点となる病院、診療所には必ず施設の整備が必要であり、例えば院内案内表示の多言語化や院内資料(問診表など)の多言語化が必要であるし、ハラル食対応キッチンなどの大規模改修なども必要になってくる。当然のことであるが、言語対応や未収金対策も大きな問題である。

このような情勢の中で令和元年の予算では100万円を計上していただいたがこれではあまりにも少なすぎるように思える。予算や訪日観光客数が違っているとはいえ大阪府では3916万円が対策費用として計上されたと聞いている。

来年度にはこの状況を勘案していただきご支援をお願いいたします。

予算額 2040万円  
未収金保証料 500万円  
電話通訳 月額10万円×6ヶ月+加算料金40万円+100万円  
多言語翻訳技術 デバイス 5万円×40=200万円  
契約料 5000円×40×12=240万円  
医療機関の整備費用 1000万円



澤井繁明医師連盟執行委員

令和元年7月21日、第25回参議院議員選挙が施行されました。比例代表選挙では、日本医師連盟推薦の羽生田俊氏が、全国で152,807票(自民党16位ノ獲得議席数19人中)を獲得し当選されました。喜ばしいことですが、6年前の同氏の得票数と比べて約10万票近く減少し、医療系組織内候補者の中では、自民党内で日本看護師連盟、日本薬剤師連盟の後塵を拝しています。兵庫県の得票数は4,741票で、やはり前回に比して約2,000票減少しています。

### 第25回参議院議員選挙結果について

兵庫県医師連盟プロジェクト委員会 委員長 八田 昌樹



勝利のだるまに目を入れる羽生田俊氏

741票、やはり前回に比して約2,000票減少しています。す。会員一人当たりの得票数は、全国で1,833票、兵庫県では1,044票で40位でした。1位は地元の群馬県で会員一人当たりの得票数は16,999票でしたが、群馬県ですら得票数は22,047票で前回より約20,000票減少しています。兵庫県下では、西宮市、姫路市、神戸市東灘区の得票数が多く、会員一人当たりの得票数は、芦屋市、赤穂郡、たつの市・揖保郡で高い傾向でした。

兵庫選挙区では、加田裕之氏(自民党、新、本連盟推薦)、高橋光男氏(公明党、新、本連盟推薦)が、やはり得票数で

支援、清水貴之氏(日本維新の会、現)の3名が当選しました。日本医師連盟推薦で組織内候補者の羽生田俊氏、本連盟推薦の加田氏、支援されたことは、我々の意見、政策を代弁してもらうために良いことですが、やはり得票数で発言の重さが違います。得票数の減少の原因は医療関係団体からの立候補者の増加、選挙や政治への無関心等色々あると思います。また、サポーター名簿、はがき、候補者が乗っていない選挙カー、投票済証の回収などの効果郡市区医師会と会員の居住地の差異も一考を要します。3年後を見据えて、今から行動を起こさなければいけないと考えます。

### 兵庫選挙区当選者の市町別得票数

	日本維新の会 清水 貴之	公明党 高橋 光男	自由民主党 加田 裕之
神戸	戸 25,820 東灘 15,118 中央 13,560 兵庫 9,450 北長須垂西 21,724 須垂西 6,845 西 16,564 南 23,165 西 26,274	市 48,873 市 59,706 市 13,233 市 19,836 市 27,899 市 21,071 市 15,218 市 4,182	市 123,702 市 18,471 市 11,321 市 10,578 市 7,233 市 16,592 市 8,584 市 14,253 市 17,548 市 19,122
阪神	市 48,873 市 59,706 市 13,233 市 19,836 市 27,899 市 21,071 市 15,218 市 4,182	市 53,940 市 37,368 市 6,585 市 17,612 市 17,418 市 14,364 市 9,680 市 2,809	市 25,085 市 37,377 市 9,781 市 17,195 市 19,572 市 13,317 市 11,431 市 2,857
東	市 29,393 市 24,420 市 8,714 市 3,009 市 3,389 市 4,250 市 7,886 市 4,658 市 4,308 市 3,925 市 2,188	市 24,901 市 26,105 市 9,619 市 2,912 市 3,043 市 3,961 市 7,581 市 4,897 市 4,060 市 3,411 市 1,929	市 23,346 市 21,028 市 7,541 市 3,037 市 2,597 市 4,248 市 7,191 市 3,991 市 4,296 市 4,118 市 2,561
西	市 42,916 市 2,949 市 7,169 市 4,554 市 3,674 市 1,294 市 1,199 市 1,639 市 3,219 市 1,433 市 1,384	市 47,831 市 3,378 市 7,387 市 4,599 市 4,784 市 1,313 市 1,721 市 1,891 市 3,092 市 2,074 市 2,374	市 42,511 市 3,075 市 7,965 市 4,713 市 4,184 市 1,920 市 1,588 市 1,862 市 2,933 市 1,766 市 2,202
但馬	市 7,346 市 2,105 市 3,041 市 1,399 市 1,261	市 8,180 市 2,739 市 3,442 市 2,096 市 1,877	市 10,496 市 3,153 市 3,622 市 2,735 市 1,933
丹波	市 4,157 市 5,966	市 4,181 市 6,980	市 4,165 市 6,251
淡路	市 4,041 市 4,097 市 3,906	市 5,098 市 5,417 市 4,608	市 4,450 市 5,018 市 5,348
合 計	573,427	503,790	466,161

●加田裕之氏…本連盟推薦候補者 ●高橋光男氏…本連盟支援候補者

### 羽生田俊氏の都道府県別得票数

都道府県別	「羽生田たかし」 得票数	A①会員数	A①会員1人 当たり得票数
北海道	2,920	2,229	1.31
青森県	663	670	0.99
岩手県	1,868	682	2.74
宮城県	3,131	1,456	2.15
秋田県	1,825	596	3.06
山形県	1,068	678	1.58
福島県	1,555	1,076	1.45
茨城県	2,229	1,385	1.61
栃木県	1,929	1,154	1.67
群馬県	22,047	1,298	16.99
埼玉県	4,489	3,549	1.26
千葉県	2,774	2,938	0.94
東京都	11,337	9,911	1.14
神奈川県	6,288	5,460	1.15
新潟県	1,210	1,238	0.98
富山県	1,214	684	1.77
石川県	2,299	701	3.28
福井県	1,084	449	2.41
山梨県	1,456	532	2.74
長野県	1,599	1,224	1.31
岐阜県	3,905	1,284	3.04
静岡県	5,025	2,249	2.23
愛知県	5,952	4,635	1.28
三重県	1,032	1,188	0.87
滋賀県	889	842	1.06
京都府	1,781	2,159	0.82
大阪府	4,538	7,543	0.60
兵庫県	4,741	4,545	1.04
奈良県	1,513	1,037	1.46
和歌山県	686	909	0.75
鳥取県	1,209	399	3.03
徳島県	975	475	2.05
香川県	2,084	1,348	1.55
愛媛県	2,658	2,273	1.17
高知県	2,319	1,081	2.15
福岡県	988	642	1.54
佐賀県	1,141	722	1.58
長門県	1,929	1,040	1.85
熊本県	824	496	1.66
大分県	16,115	3,926	4.10
宮崎県	1,646	636	2.59
鹿児島県	3,475	1,173	2.96
沖縄県	5,004	1,308	3.83
計	152,807	83,414	1.83

※会員数は2018年12月1日現在

### 羽生田俊氏の県下郡市区別得票数

県下郡市区別	「羽生田たかし」 得票数	A会員	A会員1人 当たり得票数
神戸市	1,351	1,421	0.95
東灘区	370	204	1.81
中央区	141	154	0.92
兵庫区	125	232	0.54
田原区	45	113	0.40
須磨区	155	153	1.01
垂水区	31	100	0.31
西灘区	126	134	0.94
西宮市	153	161	0.95
伊川谷市	205	170	1.21
川西市	184	449	0.41
伊丹市	117	169	0.69
川辺市	148	124	1.19
宝塚市	189	187	1.01
西宮市	529	465	1.14
芦屋市	235	105	2.24
三木市	258	238	1.08
加東市	37	59	0.63
小野市	119	64	1.86
加西市	49	27	1.81
高砂市	54	41	1.32
高松市	198	210	0.94
高松市	45	63	0.71
高松市	529	376	1.41
高松市	22	27	0.81
たつの市	128	60	2.13
生穂郡	13	20	0.65
赤穂郡	32	37	0.86
赤穂郡	19	8	2.38
赤穂郡	16	14	1.14
赤穂郡	39	22	1.77
赤穂郡	41	24	1.71
赤穂郡	12	18	0.67
丹波市	121	63	1.92
丹波市	25	14	1.79
丹波市	77	81	0.95
丹波市	21	26	0.81
丹波市	16	40	0.40
丹波市	54	43	1.26
丹波市	18	36	0.50
丹波市	43	34	1.26
計	4741 (控分票の2票含)	4565	1.04